

江田島市

# 議会だより

江田島市議会

第82号

令和7年5月1日

特集

令和7年度予算審査  
市議会アドベンチャー

P16  
～  
19

P2  
～  
5

スピーカー 声メーター

広報に届いた  
皆さんの声

28

第82号（令和7年5月）～

# 予算審査

対前年度比  
5億4,100万円減

総額

**250億9,380万円**

- 一般会計 **160億4,000万円**
- 特別会計 **73億 360万円**
- 企業会計 **17億5,020万円**



令和7年度当初予算では、人口減少の抑制に引き続き取り組みます。

市民活動の拠点施設やインフラ施設の維持管理などの暮らしの基盤整備のほか、協働のまちづくりや健康づくりなどを進めます。



令和7年度当初予算の概要はこちらから

「豊かな恵みとぬくもりで みんなが輝き活躍できる えたじま」の実現に向けて

## 審査の概要

2月定例会では、令和7年度当初予算に関する議案を、昨年12月定例会で新たに設置した予算決算常任委員会に付託しました。

2月18日の同委員会では、さらに2分科会で審議することを決定し、3月5日～11日にかけて各分科会を4日間開催し、慎重に審査を行いました。3月17日の全体会で各分科会からの審査結果報告を受け採決を行いました。



審査報告書は江田島市議会ホームページに掲載しています。



次ページからは、予算審査で議員が特に気になった事業を、三つの取り組み方針「ぬくもりのあるまちづくり」「活力あふれるまちづくり」「健康で安心して暮らせるまちづくり」ごとに、質疑の内容やまちの声とともに紹介します。



1

116万円

## 学校規模適正化検討事業

少子化による現状を踏まえ、将来を見据えて学校の在り方についての検討を行います。

### 議員から質問

**Q** 三高中学校の統合問題で地元との協議が難航したが、学校再編事業についてはどのように考えているか。

**A** 今後のこともたちの減少を見据え、外部の大学教授等を交えて委員会を結成する予定です。

各地域の学校を視察し、本市における学校の在り方を検討します。

### 議会の意見

人口減少が進む中、将来を見据えた検討を行うのは重要であると思うが、結論を急ぎすぎた地域住民や関係者とのトラブルなどが発生しないよう、慎重かつ丁寧な取り組みに努められたい。



## まちの声



おざき ともこ  
尾崎 智子 さん

一人一人の子どもたちが、それぞれ必要とする安心な居場所が異なります。この助成事業によって、どんな子どもたちでも、自分の居場所を見つけられるようになると思います。



### 議会の意見

地域のつながりの希薄化や教育格差など、現代の課題に直面することもたちが安心して過ごせる多様な居場所づくりを着実に進めていただきたい。

100万円

## こどもの居場所づくり助成事業

集いの場や体験活動等の提供などに取り組む団体等に、開設費（上限10万円）や運営費（上限5万円）を支援します。

## 健康で安心して暮らせるまちづくり

3

### まちの声



なんぶ まさとみ  
楠部 仁臣 さん

車両更新に併せ、最新鋭の資機材が整備されることとなりますので、地域住民の期待に応えられるよう、消防団員が一致団結し災害対応能力の向上に努めます。

1,733万円

### 消防団車両購入事業

市民の安全・安心を確保するため、消防車を常時運用できる体制を維持し、安定した消防サービスの提供につなげます。



#### 議員から質問

**Q** 今年度、積載車を購入予定だが、どこへ配置するのか。また、今後の計画はどうか。

**A** 今回の積載車は、前回購入から24年が経過している大古分団へ配置する予定です。令和7年度に第3次江田島市消防団活性化計画等検討委員会を立ち上げ、消防団屯所の統合、団員数の減少を考慮し、分団運営について検討する予定です。

## 活力あふれるまちづくり

2

3,000万円

### 大君地区企業誘致促進事業

旧ユウホウ紡績工場跡地、社宅跡地の利活用者を公募し、民間活力による雇用の場の創出や地域振興をはかります。  
今年度は、跡地の売却に向けたダイオキシンの除去事業を実施します。



#### 議員から質問

**Q** 2社応募があり、優先交渉権者が決まったが、どのようになっているのか。

**A** 売却と貸し付けで選択可能ですが、相手方はダイオキシン等の諸問題も受け入れて、売却を希望しています。買戻し特約を付けて契約する予定です。



### まちの声



まつもと ひろゆき  
市商工会・松本 博之 さん

ミオバイドッツで「えたじまブランド」をはじめとした市の特産品をPRすることにより市の認知度アップや特産品の販路拡大が期待できます。今後はイベント等を実施して市および市の特産品の認知度向上を目指します。

#### 議会の意見

観光情報の提供や特産品のPRをしっかりと行い、本市への観光誘客につなげていただきたい。

広島駅南口の新駅ビル「ミナモア」西棟3階の情報発信と交流の拠点「ミオバイドッツ」の運営経費を負担します。  
ドッツとは店舗名・会社名である。なお、ミオとはイタリア語の「mio」。「私の、私のもの」と、日本語の水尾「船の通る道、船が通った跡、神の道」の掛詞。



店内の県・市町PR棚とイベント交流空間

200万円

### ドッツ事業負担金

213万円

### 木造住宅耐震化促進支援事業

従来の耐震補強の設計や工事に係る支援を拡充し、耐震改修や建て替え・除却に対する支援を新たに行います。

耐震改修・現地建て替え

工事費の80%（上限115万円）

非現地建て替え・除却

除却工事費の23%（上限97万8600円）



#### 議員から質問

**Q** この予算では1、2件しか対応できないと思う。われわれもPRがしづらい。どういう考えで取り組むのか。

**A** まずは制度を創設し、それぞれ1件分を計上しています。どういうニーズがあるのか、市民からの反応を見定めたいと考えています。





**賛** 各分科会において、所管ごとの予算について慎重審査の結果、賛成多数で原案可決と決している。

その際、それぞれの担当部課長から説明を受け、疑問点について質問し、その回答を求め、納得の上で採決に至ったものである。

**反** 予算委員会での質問に対する回答に不明な点があり、現状では市民に説明ができないため、疑問点を解消していただく必要がある。行財政経営計画を見れば分かる通り、今後財政状況が厳しくなっていくのは一目瞭然であり、ある程度指標を示すよう、1年でも早く取り組むべきである。

こんな討論がありました

人口減少の抑制に引き続き取り組むため、第3次江田島市総合計画に掲げる「豊かな恵みとぬくもりでみんなが輝き活躍できるえたじま」を実現するための施策に取り組む予算としています。

Point 2 一般会計当初予算を可決しました。

議案第1号 令和7年度江田島市一般会計予算

主な議案の賛否

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 ―…議長職（議長は採決に加わりません）

|            | 宮下                                         | 算本 | 上本 | 平本 | 美濃 | 古居 | 長坂 | 岡野 | 平川 | 沖 | 沖元 | 上松 | 吉野 | 浜西 | 山本 | 酒永 |
|------------|--------------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|---|----|----|----|----|----|----|
| 予算         | 令和6年度江田島市一般会計補正予算（第7号）                     |    |    |    |    |    |    |    |    |   |    |    |    |    |    |    |
|            | ○                                          | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 欠 | 欠  | ○  | ○  | ○  | ○  | -  |
| 条例の制定・一部改正 | 令和7年度江田島市一般会計予算                            |    |    |    |    |    |    |    |    |   |    |    |    |    |    |    |
|            | ●                                          | ○  | ○  | 欠  | ●  | ○  | ○  | ●  | ○  | 欠 | 欠  | ○  | ○  | ○  | ○  | -  |
| その他        | 江田島市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例案について      |    |    |    |    |    |    |    |    |   |    |    |    |    |    |    |
|            | ○                                          | ○  | ○  | 欠  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 欠 | 欠  | ○  | ○  | ○  | ○  | -  |
|            | 江田島市部等設置条例等の一部を改正する条例案について                 |    |    |    |    |    |    |    |    |   |    |    |    |    |    |    |
| 発議         | ○                                          | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 欠 | 欠  | ○  | ○  | ○  | ○  | -  |
|            | 江田島市下水道条例及び江田島市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例案について |    |    |    |    |    |    |    |    |   |    |    |    |    |    |    |
| その他        | 副市長の選任につき同意を求めることについて                      |    |    |    |    |    |    |    |    |   |    |    |    |    |    |    |
|            | ○                                          | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | 欠 | 欠  | ○  | ○  | ○  | ○  | -  |
| 発議         | 江田島市議会の議員の定数条例の一部を改正する条例案について              |    |    |    |    |    |    |    |    |   |    |    |    |    |    |    |
|            | ○                                          | ○  | ●  | ●  | ○  | ●  | ●  | ○  | ●  | ● | 欠  | ●  | ●  | ●  | ●  | -  |

こんなことが決まりました！

2月定例会

会期 2/18～3/18

議案…… 31件  
同意…… 2件  
報告…… 1件  
発議…… 1件

この中から三つを詳しく解説！

全ての議案名および議案の議員別賛否は、市議会ホームページでご覧いただけます。



＼ 定例会 ／

本会議のライブ中継・録画映像は、ご自宅のパソコンやスマートフォンから視聴できます。



江田島市議会 中継 検索

Point 1 一般会計補正予算を可決しました。

議案第19号 令和6年度江田島市一般会計補正予算（第7号）

主なものは、人件費や各事業費等の執行残による10億1655万3000円の減額です。

こんな意見が出ました

多額の減額補正となっている。予算編成の際は、緻密な積み上げを。



こんな質問が出ました

**Q** 財産売払収入が増額となっているが、こういったものが収入になったのか。

**A** 昨年5月にスーパー千鳥を3960万円で売却しました。また、ポンプ場改修工事で鉄屑をスクラップとして338万7000円で売却したものです。

**Q** 公共交通事業に対し補助金が多く出ているが、どういった内容なのか。

**A** 生活航路対策事業補助金事業は、三高／宇品航路における県の補助との調整です。また、原油価格高騰対策緊急支援金事業は、資源エネルギー庁が公表している原油の値上げにより、航路およびバス・タクシー分の緊急支援をします。

Point 3 議員定数は現状維持（16人）となります。

発議第1号 江田島市議会の議員の定数条例の一部を改正する条例案について

議員定数を2人削減し14人とする条例案が提出されました。各種団体の代表者に対して行ったアンケートの結果や、市の人口動態、財政状況を勘案し、より効果的で効率的な議会運営を目指すという趣旨でしたが、賛成少数で否決されました。

こんな質疑がありました

**Q** 議会改革推進特別委員会で、定数1人減に2名が挙手しているが、なぜ2人減の発議案なのか。

**A** 市内各種団体の意見を尊重すべきであり、14人でも十分委員会運営できると考えられるためである。

こんな討論がありました

**反** 議会改革の本質は、議員削減ではなく、市民の信頼を高め、政治参加を活性化させることにある。現状維持という委員会の結論は、市民に説明ができる論拠がない。

**賛** 昨年から委員会活動が多様化しており、議員定数削減は委員会構成や委員会運営に支障をきたす。削減して得られた財政効果を、市民の福祉向上やこどもたちの教育等の活動費に活用すべき。

**反** 議員を減らせば、それだけ多様な市民の声を反映しづらくなる。



古居 俊彦

道路の陥没について危険はないか

**答** 小規模な陥没の場合は、その場で補修材による修繕をしており、大規模なものは、本市では実例はない



**市長** 市道の橋で補修が必要と診断された63力所のうち、58力所の補修が完了しています。また、市道の舗装は、調査で補修が必要であると診断された延長約30kmのうち、令和6年度末までに約4kmの補修を行うこととしています。



小規模な修繕

**問** 道路の橋・舗装等の補修の実施状況と今後の対策は。

**市長** 職員によるパトロールや、住民からの情報により、陥没などの状況把握に努めています。舗装の剥がれ等に伴う小規模な陥没の場合は、その場で簡易補修材による修繕をします。本市では実例はありませんが、道路の内部に空洞ができていなどの、規模の大きい陥没が発生した場合には、利用者の安全を確保した上で、原因を特定し、再発防止を含めた復旧工事を実施することとしています。

**問** 道路の陥没等に対する維持管理についての対策は。

おわりに

江田島市においても、高度成長期に新設したインフラのほとんどが耐用年数を迎える今、市民の皆さんが日々使っている道路等、「インフラの維持管理」の重要性は改めて言うまでもない。今後、計画的な施設の維持管理に努めてほしい。

**土木建築部長** おおむね現行計画通りの事業費を確保し、維持管理を進めています。内訳は、道路施設への投資が全体の約70%を占め、漁港施設が約14%、都市下水施設が約9%です。

**問** 年間平均の維持管理投資額が約2・9億円とされているが、実際にこの予算は確保されているのか。

年度から計画的な取り組みを推進します。利用状況を踏まえた施設の減量化やさらなる予防保全型の維持管理を進めていきます。



長坂 実子

会計年度任用職員の雇用見直しは妥当ではない！  
社会の流れに柔軟に対応した行財政運営を！

**答** 人件費削減のために適正雇用に努める



**総務部長** 生活への影響を抑えるため、さまざまな職種で幅広い公募条件を提示した上で雇用を行っています。すでに雇用している職員に配慮した公募は制度

**問** 経験を積み、知識やスキルを習得しているにもかかわらず、処遇を下げた雇用条件への変更は妥当でない。生活に困る人がいることを考えないのか。

**市長** 会計年度任用職員の業務は職員の補助的業務、単純・定型的な業務、短期的な業務であり、定員適正化計画への反映はそぐわないと考えます。令和2年度以来、会計年度任用職員の雇用条件が大きく改善され、予算に占める人件費の割合が大きく膨らんできたため、業務実態を精査し、雇用の見直しが必要と考えます。

**問** 令和6年度、職員の給与を大幅に引き上げた一方で、令和7年度会計年度任用職員の勤務時間や処遇を下げる雇用見直しが行われている。生活に影響するため仕事を变えざるを得ないという声がある。本市の定員適正化計画に基づく計画的な雇用見直しはか。

※職員の残業削減、安心して出産できる環境づくりにしても質問しました。



おわりに

業務が変わらず処遇が下がれば労働意欲は削がれ、効果的ではない。今後、人材確保はさらなる困難が予想される。給与面だけでなく、業務の抜本的見直しの中で会計年度任用職員の雇用見直しや職員の長時間労働の是正など社会の流れに柔軟に対応し、行財政運営に取り組まれない。

**問** 自治体は労働契約法の適用外だが、社会の動向に沿った雇用を考えるべき。人件費削減よりも、事業見直しや職員全体の業務の見直しを優先すべきである。それでも人件費削減が必要なら、市政運営の責任ある立場の市長や管理職から給与カットするべきでは。

の趣旨に反し、新たな雇用の創出できません。



市の考えを問う

一般質問

QRコードを読み取ると録画映像が視聴できます。

質問者 8人

1 岡野 数正  
2 古居 俊彦  
3 長坂 実子

4 平川 博之  
5 美濃 英俊  
6 上本 雄一郎  
7 平本 美幸  
8 寛本 語

林野火災 出火防止対策の徹底と被害の拡大防止策は！  
道路の陥没について危険はないか  
会計年度任用職員の雇用見直しは妥当ではない！  
社会の流れに柔軟に対応した行財政運営を！  
学校体育館の環境整備促進を！  
情報発信の課題解決のために！  
市営の合葬式墓地の創設に向けた検討を！  
市民生活に寄り添った予算編成、職員の確保を！  
陸上公共交通の活性化について、今後の取り組みは！



岡野 数正

林野火災 出火防止対策の徹底と被害の拡大防止策は！

**答** 林野火災防止強化月間を定め、広報やパトロールを強化する。また、発生時には早期にヘリコプター等の要請を行う



**危機管理監** 避難指示を発令しなかったことについては、延焼危険等現場の状況判断により、自主避難対応としました。

**問** 今回の林野火災は現場近くに介護施設もあり避難に時間を要するご高齢の方々が入所されていたことから、「自主避難」ではなく緊急性の高い「避難指示」を発令すべきではなかったかと考えるが。

**市長** 周辺の住宅や介護施設へ延焼危険があったため、大原地区住民6世帯13人が宮ノ原交流プラザへ、誠心園入所者および職員141人が市内の介護施設などへそれぞれ自主避難しました。

**問** 本年1月に長浜射撃場内で発生した林野火災は4日間延焼した。昨年も同時期に大柿町陀峯山で大規模林野火災が発生している。今回の火災で周辺への影響はどうだったのか。



民家に迫る山火事

※江田島市総合計画基本構想の令和7年度事業への反映についても質問しました。

**問** 今回の火災は、海上自衛隊の訓練場からの出火という特異な事例である。これまで本市と海上自衛隊は共存共栄の信頼関係を築いてきた。この関係を後世に繋げていくためにも、二度とこのようなことがないよう出火防止対策が必要と考える。防火帯の設置や消火設備や消防車の待機などの対策を海上自衛隊側に要望すべきと考えるが。



**上本 雄一郎**

**市営の合葬式墓地の創設に向けた検討を！**

**答**

まずは需要と供給を見極め、必要な時期に検討したい



**問** 江田島北部墓苑の5段目は全27区画が空いている。使用料の値下げによる利活用促進が必要では。

**市長** 現在、江田島中央墓苑（全152区画）では2区画が、江田島北部墓苑（全197区画）では55区画が空き区画になっています。江田島南部墓苑（全151区画）および飛渡瀬墓地公園（全309区画）に空き区画はありません。

**問** 市営墓地の使用状況は。

**市長** 市管理の四墓苑の状況をお答えします。令和4年度から令和7年1月末の間で、墓じまいを理由とした区画の返還は、江田島中央墓苑で4件、江田島南部墓苑で3件、江田島北部墓苑で5件、飛渡瀬墓地公園で6件の、計18件となっています。

**問** 葬送儀礼や墓制は、変化のただ中にある。コロナ禍を経て、親類縁者相集い故人を偲ぶ機会は激減し、祭祀の担い手たる家族を取り巻く社会状況も大きく揺らいでいる。本市での墓じまいの状況はどうか。

**市長** 市管理の四墓苑の状況をお答えします。令和4年度から令和7年1月末の間で、墓じまいを理由とした区画の返還は、江田島中央墓苑で4件、江田島南部墓苑で3件、江田島北部墓苑で5件、飛渡瀬墓地公園で6件の、計18件となっています。



合葬式墓地を特集した呉市議会広報紙の表紙



**平本 美幸**

**市民生活に寄り添った予算編成、職員の確保を！**

**答**

市民の生活に直結する事業を優先した予算編成を行うとともに市民のために働いてくれる有能な人材を確保する



**問** 農村環境改善センターについて、トイレの改修や土足での利用などが必要だと考えるが設計をどう考えているのか。

**産業部長** 現時点では、傷んでいる外壁や屋根等の改修、空調設備や照明器具の更新、トイレの洋式化とともに多目的ホールの土足化等を含めた想定で改修設計業務を委託する予定です。

**問** 大規模集会施設の今後の見通しについて、沖美ふれあいセンターの空調が故障した状態が続いている。空調設備更新の今後のスケジュールは。

**総務部長** 選択と集中を意識した編成をしています。個別事業において、廃止や新設などはありません。市民の皆さまの暮らしや日々の生活を守る事業を優先して計上しています。

**問** 新年度予算で、具体的な選択と集中したものは何か。

**総務部長** 選択と集中を意識した編成をしています。個別事業において、廃止や新設などはありません。市民の皆さまの暮らしや日々の生活を守る事業を優先して計上しています。

**問** 市職員の市外居住について

**市長** 令和6年4月1日時点において正規職員347人のうち、市外居住者は73人で21・0%を占めており増加傾向にあります。

**問** 市職員の市外居住の状況と傾向は。

**危機管理監** 休日であっても居住地を問わず、事前に気象情報が確認できる状況では、職員は各自対応できる体制をとっています。

**問** 地域の実情を肌で感じ、地域の特性をまちづくりに生かせる職員を育てるためにも職員の市外居住を推進するべきではないか。

**市長** 職員の市内居住については、市内居住者だけでなく人材を確保していくことが困難になっています。一人でも多くの職員に市内居住してもらえよう魅力的なまちづくりを進めるとともに、市民のために働いてくれる有能な人材を確保することが大切だと考えています。





**平川 博之**

**学校体育館の環境整備促進を！**

**答**

限られた予算の中で、何を優先するか慎重に検討する



**問** 学校体育館の空調機整備計画はあるか。

**教育長** 学校体育館のアリーナには空調機を設置しておらず、現時点では、計画は立てていない状況です。国において、災害時の避難所機能強化の観点から体育館等への空調設備の整備の加速化を進めていることを踏まえ、今後検討すべき課題の一つであると考えています。

**問** 学校施設は避難所としての活用ができるが、その安全対策は。

**市長** 体育館を避難所として開設する際の冷暖房対策については、学校や自主防災会等が所有している冷暖機やジェットヒーターなどの器具により初期期対策を行います。

**問** 全国および広島県内の公立学校体育館の空調設備設置状況は。

**教育部長** 文部科学省の調査で、体育館等における空調設備の設置率は、令和6年9月1日現在、全国では18・9%、広島県では11・6%です。

**問** 学校体育館の空調設備整備のメリット・デメリットは。

**教育部長** メリットとして熱中症リスクの大幅な低減など健康・安全面の確保ができます。また、運動環境が確保されます。デメリットは、高額な設置費用が必要であること、定期的な維持管理費用が増加すること、温室効果ガスの排出量が増えることが考えられます。

**問** 多額の費用がかかることは分かったが、児童生徒の健康には代えられないのではないか。

**教育部長** 児童生徒や災害時の避難所としての機能強化の観点から、予算的なこと、学校の適正規模・適正配置の観点から、防災機能の担当課である危機管理課とも連携をはかり検討します。





**美濃 英俊**

**情報発信の課題解決のために！**

**答**

ホームページの整理、SNSは意図を持った運用を行う



**問** 市のホームページについて、トップ画面が雑多で、情報を探しにくい。さらに、情報の整理ができていないために、調べたい情報にたどり着けない状況である。いま一度、情報の整理を進めてはどうか。

**企画部長** 現在の市のホームページは、必要な情報にたどり着くまでの経路が分かりにくいという課題があることは認識しています。また、雑然としている点は否めません。極力、分かりやすいものとなるよう、情報の整理に取り組みます。

**問** 続いて、SNSについて、どんな戦略を持って運用しているのか。

**企画部長** SNSの強みの一つとして、画像や映像を中心とした情報を、コストをかけずに不特定多数に発信できるということがあります。このため、SNSにおいては、イベントや行事など、市の様子を発信することを中心とした活用を行っているところです。SNSのツールによって、利用層や求める情報などが異なると思われるので、



**問** その通りで、財政の厳しい江田島市にとってありがたいツールである。フォロワー数（登録者）やビュー数（閲覧数）をどのように増やすかが重要だが戦略はあるか。

**企画部長** 正直に申しますと、明確な戦略は持ち合わせていません。広報部門のマンパワー的なこともあり、各ツールに情報をアップすることですっきりしているのが現状です。ひと工夫、ひと手間をかけることで、より良い結果を出せることもあると思うので、可能な範囲で、より意図を持った発信に取り組みます。



筭本 語

**陸上公共交通の活性化について、今後の取り組みは！**

**答** 何としても、将来も本市の公共交通網を残すという強い決意の下、全力で取り組む



**問** 江田島北部線と江田島北部朝夕便を統合した、定時定期路線への移行は。

**市長** 江田島北部線は、年間約300万円の赤字となっており、予約なしの運行とした場合、約700万円を超過赤字が生じる見込みです。

また、江田島北部線の年間運行予定便数のうち、利用者があった割合は約33%で、沖美南部線76%、沖美北部線約62%と比べ大きく下回っています。

こうした利用実績を踏まえると、定時定期路線化できる状況にはないと考えています。

**問** 江田島バスで利用されてきたバスピー廃止に伴い、イコカに移行するが、モビリーデイズの導入は。

**市長** 費用面から、二つのシステムをどちらも導入するという選択は取り得ず、イコカはバスピーと同様の利用方法かつ全国の公共交通で利用可能なものであるため、イコカを選択しました。今後、モビリーデイズを導入しないことが利用者の利便性を著しく損なう状況が生じた際は検討します。

**問** 自動運転技術によるバス路線の運行実験の今後の展望は。

**市長** 本市は、令和5年度に国費を活用して自動運転の実証運行を行いました。自動運転技術を導入した場合、現在よりコスト増となる可能性が高いと思われるため、導入メリットをよく見極める必要があると考えています。

**問** ライドシェア導入について、本市の考えは。

**市長** 現在、本市では、路線バスの運行ルート等の空白を埋めるために、おれんじ号を運行しております。

また市内タクシー事業者が市内全域をカバーし、かつ夜間も運行されているため、現時点においては、必ずしもライドシェアを導入しなければならぬ状況にないと考えています。

今後、交通の空白地帯が生じる恐れが生じた際は、制度の活用を検討します。



持続可能な公共交通の重要性を、市民一人一人に意識付けたい！



今号から掲載！

**議長日誌**

議長の公務内容の一部をお知らせします。

その他は右記QRコードから→

**1/28 全国市議会議長会基地協議会理事会および総会**

基地関係市議会が加盟する本協議会に出席し、令和7年度の活動方針等を決定しました。



総会の様子

**1/29 特別交付税要望活動**

土手市長と共に、地元選出国會議員、総務省および財務省を訪問し、要望活動を行いました。



総務省の竹内事務次官に要望書を提出

**配信中**

江田島市議会では、令和6年12月より、常任委員会の録画映像を動画で配信しています。右記QRコードを読み取り、注意事項をご確認の上、YouTubeバナーをクリックしていただくと、動画配信サイト（YouTube）へ移行し、視聴できます。

QRコードの読み取りが困難な方は、**江田島市議会** **YouTube** で検索



# 議会改革推進特別委員会

## 主な活動内容

- 1月23日  
議員定数、議員報酬、正副委員長報酬の加算について協議
- 1月31日  
議員定数、議員報酬、正副委員長報酬の加算について採決
- 2月7日  
岡野委員長の辞任を許可し、浜西委員長に交代
- 今後のスケジュールを協議

## 調査の結果

採決を行い、意見をまとめました

## 議員定数：現状維持の16人とする

類似市と比較し、定数16人は妥当。議員を減らせば、各地域の市民の多様な声が届きにくくなる。本市で人口減少抑止を掲げる今後10年の総合計画が始まる中、議会も議員の総力を挙げて知恵を出し合うべき。

## 議員報酬：現状維持とする

物価高騰を背景に全国的に民間企業の給与を上げる動きがあるが、本市の事業所ではいまだに厳しい状況にある。報酬を上げる段階ではない。

## 正副委員長報酬加算：報酬加算はなしとする

各委員会において、正副委員長だけでなく、委員も意見を出す責任は重く、報酬加算の必要はない。

## 議会広報特別委員会 調査研究レポート

**調査日** 令和7年1月14日・15日

## 調査先

- ① 山口県山陽小野田市議会 広報特別委員会 広聴特別委員会
- ② 福岡県糟屋郡宇美町議会 広報常任委員会

## 調査概要

議会広報特別委員会は、「議会広報の発刊、広聴、議会ホームページの充実に関する調査」を行うために設置されています。他の先進議会の取り組みを学び、意見交換を行い、より開かれた議会を実現するための方策について学びました。

## 報告内容

- ① 山陽小野田市議会はYouTube配信やSNSを活用した情報発信、議会主催の市民懇談会など、積極的な情報発信の取り組みを行っています。取り組み方法や、これらの活動を通じて住民との対話を深め、議会の透明性向上に努める姿勢を学びました。
- ② 宇美町議会は広報紙の先進地として知られ、「町議会の活性化は議会広報から」というスローガンの下、常任委員会として取り組みを行っています。住民や議員の声が伝わる紙面づくりに努める姿勢は「議会だより制作を通じた広聴活動の展開」という面で大変参考になりました。



市民に開かれた議会運営を目指し、広報・広聴活動の改善に努めます。また、「手に取ってもらえる紙面づくり」により一層取り組んでいきます。



宇美町議会での調査の様子



山陽小野田市議会議場にて

# 総務文教 常任委員会

総務部、企画部、危機管理監、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会、消防および教育委員会の所管に関する事務ならびに他の委員会に属さない事務

## 主な活動内容

### 聞き取り調査

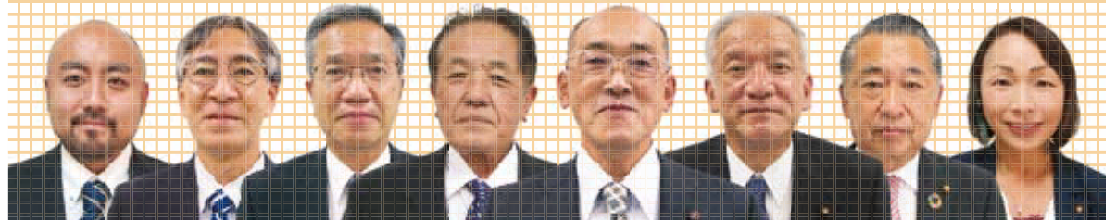
1月27日（企画部）

### 公共交通の現状について

海上交通、陸上交通の収支状況について

### 公共交通の課題

- ・人口減少による利用者数の減少
- ・航路はコロナ禍の影響で乗降客数の回復が不十分
- ・全ての航路・路線で赤字運航（行）



宮下 委員 古居 委員 酒永 委員 山本 副委員長 平川 委員長 浜西 委員 岡野 委員 平本 委員



## 調査の概要

### 海上交通の収支状況

- ・全航路で赤字運航が継続。
- ・コロナ禍により急激に採算性が悪化しており回復していない。
- ・補助金や財政支援を受けても赤字運航となる。

### 陸上交通の収支状況

- ・路線バス
- ・乗客数は増加傾向だが、黒字路線は「大柿く小用」間のみとなっている。
- ・予約型乗合タクシーおれんじ号
- ・営業収入と支出による差額が連続して赤字となっている。

### 交通網維持のための支援状況

国や県の補助等を除いても市単独で約1億円を毎年補助している。

### 市の対応方針

現在、航路事業者は航路の撤退は考えていないものの、値上げ等の経営改善策を検討している。中町・高田ノ宇品航路の指定管理者を公募するにあたり、収支均衡がはかられる形で運賃を上げるか、その分を市が補填するのか検討していく。

### 委員会の主な意見

フェリー・バス事業は全て赤字であり、人口減少の影響やコロナ禍からの利用回復も遅れている。現在約1億円の補助金を出しているが、財政負担の増加は他の事業にも影響を与えるため、永続的な支援は難しい。収支改善のためには運賃改定も選択肢に入れざるを得ないが、市民負担の増加が課題である。

一方で、公共交通は市民生活に直結し、通勤や通学、特に高齢者や交通弱者にとって重要なインフラである。市民の利用促進に向けたPRや利便性向上、観光客の利用促進も必要である。また、持続可能な運航（行）を実現するためには、事業者と市の連携強化が不可欠であり、長期的に安定した運航（行）モデルの構築の検討が求められる。

これらの課題に対応しながら、地域の交通網をいかに維持・発展させるかが今後の大きな課題となる。

# 産業厚生 常任委員会

産業部、土木建築部、農業委員会、市民生活部、福祉保健部および福祉事務所の所管に関する事務

## 主な活動内容

### 聞き取り調査

2月20日（土木建築部・産業部）

### 各種計画の策定について質疑応答

【江田島市インフラ整備計画】

未来につながる持続可能なインフラの実現を目指す計画。

【第2次江田島市農業振興ビジョン】多様な担い手が、輝き、守り、育て、未来へつなぐ島の農業を目指す計画。

【第3期江田島市水産振興ビジョン】島の恵みを活かし、育み、未来へつなぐ水産業を目指す計画。

【第2期江田島市観光振興ビジョン】観光の方向性を明確にし、観光に関わる全ての人が共通認識の下、観光施策を推進することを目的とした計画。



## 調査の概要

### 【江田島市インフラ整備計画】

#### 課題と方針（担当課説明）

地域の特性で道路以外にも橋やトンネル、港湾や漁港など対象のインフラが膨大で老朽化も進んでいる。さらに、整備する人材不足も課題である。今後の計画では、既存のインフラの集約や再編すること、予防保全型の維持管理を進め持続可能なインフラ整備をすることで、安全・安心な暮らしを実現する。

### 委員会の主な意見

技術向上につながる機会があれば、積極的に人材を派遣していただきたい。

既存のインフラを集約するときには、その後のメンテナンスをどうするか意識して取り組まなければならない。

### 【第2次江田島市農業振興ビジョン】

#### 課題と方針（担当課説明）

農地・産地を維持し、スムーズに新規就農を進めるために、どうするかが課題である。そこで、収益性の向上を目指し、多様な人材や組織の参入を促す。

### 委員会の主な意見

前の計画で行った事業の効果を分かるようにし、新しい計画を進めること。

環境問題、環境対応について計画に示されていないが、国の方針を意識し示すべきでないか。

※『第3期江田島市水産振興ビジョン』『第2期江田島市観光振興ビジョン』についても担当課から課題や方針について説明を受け、同様に、質問をし意見を述べた。

### 【議会のミッション】

これらの計画は4月1日より施行されている。

今後は、計画が順調に進んでいるか議会がチェックし、より良い結果になるよう努めることが重要である。



# 市議会アドベンチャー



児童の皆さんの提案内容は  
こちらからご覧になれます。



市内の小学6年生（開催当時）が、社会科授業の一環として市議会の仕組みを行った後、各校で未来の江田島市のために自分たちができることを考え、今回、たくさんの参加児童が感想を寄せてくれました。

みや役割について学びました。令和6年度は、1月に議場で議会クイズ実行したことについて市に提案する意見発表を行いました。

私は、市議会アドベンチャーで、政治に関心を持つようになり、市議会アドベンチャーを体験する前は、「自分分は発表しないから」と、気楽な気持ちで会場まで行きました。しかし、議場に入ると、議員さんや市の担当者の方などたくさんの方がいらつしやいました。江田島市のことを真剣に考えてくれている人がこんなにいることを知って、うれしくなると同時に、この人たちのおかげで、私たちの暮らしが豊かになっているのだということを知りました。

市議会アドベンチャーを通して、自分が住んでいる切串の課題や、町全体をさらに、にぎやかにするにはどうすればいいのかわかり、誰もが住みやすい町にするために、自分たちができることは何かを考えたりすることができました。

私は将来、江田島市の一員として、政治や選挙に積極的に参加したいと思っています。

三浦 梨さん  
初めて市議会アドベンチャーに行き、意見を発表するところを見ました。見ているだけだったけど、緊張しました。



ひらの 平野 みなみ さん

発表しているのを見て、みんながすごく江田島のことを考えて発表しているところがいなと思いました。議員さんも、僕たちの提案を聞いてくれてうれしかったです。

みすだ けいご 啓悟 さん



市議会アドベンチャーを経験して、堂々と発表できるのがすごいと思ったし、市議会に少し興味を持ちました。

おかもと かりん 葉鈴 さん



## 切串小学校

私たちは、「みんなで議論する」という大切なことを学びました。私たちが発表したオブジェは、世界中の人々に江田島市のことを知ってもらうためのものです。みんなで協力して完成させることができました。



市議会のクイズが分かりやすかったです。市議会だよりは1年で4回しか出してないことにびっくりしました。これからも市議会の仕事について知りたいです。

ふじしろ ゆうと 藤代 優人 さん

まつばら すずか 松原 寿寿花 さん



私たちの意見発表について「堂々とした発表が良かった。ココロヒカレはこれからにつなげられたら面白い」と褒めていただき、うれしくなりました。もっと頑張ろうとやる気も湧いてきました。



せとなか なぎ 瀬戸中 凪 さん

私は、市議会アドベンチャーで発表をしました。演壇に立つと多くの視線を感じ、緊張で内容を忘れそうになりましたが、一年間かけて考えたプロジェクトを勇気と自信を持って提案しました。

私たちは、江田島市への移住促進と地域活性化を目的に、長瀬海岸にオブジェ「ココロ」を設置する提案を行い、3月に完成させました。多くの方々の協力のおかげで実現し、みんなが集える場所となったことをうれしく思います。

交流観光課の方からの回答で、「みなさんのすばらしい提案に協力します」と言っていたので、さらにやる気が増しました。オブジェ「ココロ」を「心つながる、笑顔になれる場所」として、今後も大切にしていきたいです。また、この提案で、物事を多面的に見ることの重要性にも気付くことができました。

市議会アドベンチャーを通して、市議会が市民の意見を反映し、より良いまちづくりを行う場であることを学び、政治への関心も深まりました。将来は、市のために議論し、貢献できる人を目指したいです。



やながわ さん 三太 さん

## 中町小学校

私たちの住んでいる江田島の町の知名度を上げようと頑張っていることにびっくりしました。私たちができることを考えながら、生活していきたいです。



みやけ ふうか 三宅 楓果 さん



建物を造ったり、新しい決まりを作ったりするときは、議会を通して決められているんだと分かりました。自分にとって良い経験ができてとても楽しかったです。



てらぐち けいすけ 寺口 圭祐 さん

僕たちは、これまでの学習で江田島の良さを見つけてきました。6年生では商品を開発したので、商品を通して江田島を宣伝するイベントや場所が増えれば良いと考えました。

二つ目は、アニメのマンホール設置についてです。アニメのマンホールがあることで、観光客などが増え、人口増加につながると思いました。

今回の提案から、誰かの協力がないとやりたいことを実現させることは難しいということを知り、互いに感謝することが大切だと感じました。活気あるふるさと江田島を創るために、まずは、市議会だよりを読み、市議会に関心を持つていきたいです。

市議会アドベンチャーへ参加する前は、議場を映像でしか見たことがなかったのですが、楽しかったです。実際に議場に入ると座ると、教室とは違う緊張感がありました。

江田島小学校の6年生は、二つのことを提案しました。

一つ目は、総合的な学習の時間に取り組んだ『ふるさと江田島』の良さをPRできる場所についてです。



みやじ そうすけ 宮地 奏輔 さん

## 江田島小学校

自分たちが住みよい江田島になるように、条例や予算などを考えてくれて、ありがたいなと思いました。江田島のために何ができるか考えていきたいです。



いまい ひな 今井 陽菜 さん



市議会クイズで緊張がほぐれ、議会アドベンチャーに楽しく参加をすることができ、今まで知らなかったことを知ることができました。今回の経験を忘れないようにしたいです。



こばやし 律希 さん



この議会アドベンチャーで「発表したいことがあれば、恥ずかしがらずに発表すること」を学びました。これからは勇気を持って、もっと自分の意見を伝えていきたいです。



まえだ 笑実 さん



たかさき 恵矢 さん

私たちの提案に、広報をサポートしてくださると言ってくれました。今回の経験で政治の大切さを実感しました。



たけもと 心夏 さん

## 鹿川小学校



市議会アドベンチャーを終えて思ったことが二つあります。一つ目は、最初のクイズについてです。議員になることができる年齢が25歳以上ということに驚きました。僕は、18歳で投票できるから、議員になれるのは20歳だと思っていました。このこと以外にも、クイズを通して楽しく学ぶことができました。二つ目は、意見発表についてです。鹿川小学校は、江田島へ来た観光客の安全対策や南海トラフへの災害対策についての提案をしました。その内容は、ICTの活用や災害グッズの提供、避難所までの案内板と標識の設置などでした。僕は、江田島を守るために、発生率の高い南海トラフ地震について一度、一人一人が真剣に考えるべきだと思いました。また、中町小学校の提案は、廃材や海岸に落ちているものを使ったオブジェの設置によりみんなが笑顔になり、いろいろな人とつながることができるということが素晴らしいと思いました。この提案が実現し、江田島市が市民や外国人、観光客にとって楽しく過ごせる場所になってほしいです。



きっかわ 統史 さん

今まで以上に江田島への興味が湧き、もっと知りたいと思うようになりました。私たちが提案したことが通れば、より江田島を好きになると思います。



はなたか 千咲都 さん

市議会アドベンチャーでは、議場に入った途端、冷や汗が止まりませんでした。議場で私が発表するのだと考えたら、怖くなってしまいました。市議会クイズでは、市が決めるルールのことを「条例」ということや、市議会議員になれるのは25歳以上であることが分かりました。その後の意見発表では、私たちが総合で取り組んできた「E T A J I M A G U R U R I」という他の地域から江田島に来てもらいたいと考えた取り組みを発表しました。そして、今後の取り組みについて、江田島市の方にアドバイスをいただきました。農林水産課の方から、2月の初めに飛渡瀬地区に地域の特産物（アサギ）を売ることができるというのを教えていただきました。大古小の発表も、地域の祭りを盛り上げたいという内容の提案でした。私は、二つの学校の取り組みを聞いて、もっと多くの人に江田島の魅力を知ってもらいたいと思いました。そのために、今後も市議会に注目し、江田島市について考えたいと思います。

心に残ったことは、議会クイズで学んだことと、大古小学校の意見発表を聞いたことです。お祭りを盛り上げるために出した大古小学校の屋台に行ってみたいと思いました。



なしま かなさ さん



私は恥ずかしくて質問できませんでした。帰りのタクシーの中でいろいろな疑問が出てきて後悔しました。中学生になったら、ちゃんと自分の意見を言える人になりたいです。



かとう 愛音 さん

去年、6年生のライブ配信を見たとき、みんなの前で上手に意見発表ができてすごいなあと思いました。実際に行ってみて席に座ると自分がまるで議会の議員さんになった気分でした。緊張しました。



ひがし 花恋 さん



しらいし 優太郎 さん

## 大古小学校

市政の仕組みや他校の取り組み、PR方法を知りました。僕たちの提案に協力すると言ってくれてよかったです。これから江田島市がより良い市になるよう、これまでの学びを生かして未来を創っていききたいです。



たかさき 恵矢 さん

私たちの提案に、広報をサポートしてくださると言ってくれました。今回の経験で政治の大切さを実感しました。



たけもと 心夏 さん

僕たちは、大古夏まつりでふるさとを盛り上げるために、みんなで屋台を出した経験から、みんなが楽しめる祭りができるようにしたいと提案しました。すると、市役所の方が、僕たちの提案に、真剣に向き合ってくださり、他の地域の祭りと比較しながら答えてくださいました。大人の方々も、江田島市のことを良くしていきたいという思いは同じなんだと分かって、とてもうれしかったです。だから、僕も江田島市で開かれているイベントにはたくさん参加して、積極的に盛り上げたいです。今回は、学校で学んでいることが、自分たちの将来につながっているということが分かる貴重な経験になりました。

僕は市議会アドベンチャーに参加することができて、本当に良かったです。まず、議場に入るとき、これまで経験したことがない雰囲気を感じて、自分がかっこいいかという気持ちになりました。議員の方々が、江田島市のために真剣に話し合う場面だと分かりました。



おき 有人 さん

議会クイズで「市議会だより」は年に4回発行されることや議会では予算を決めることが重要だと知りました。議会の緊張した雰囲気を味わうだけでも貴重な経験でした。



たかはし 蒼大 さん

### 当日傍聴した議員から一言

議会アドベンチャーに参加された皆さん、ありがとうございました。議場は厳かな雰囲気と独特な緊張感があったことと思いますが、臆せずハキハキと江田島市の課題について発言している姿は、とても感心しました。あなたたちは江田島市の未来の主役です！共に、明るく住みやすい江田島市をつくっていきましょう！！



# クロスアップ 江田島市のしごと

農林水産課に事務局を置く江田島市水産物等販売協議会。漁協および漁協青年部等が一体となり地域内の水産物等の販売促進と水産業の振興のために取り組むことを目的に運営されています。課題や要望など伺ってきました。



江田島市水産物等販売協議会  
会長 大越 真也 さん

## PR の場を求めています

現在、協議会の主な活動はイベントでのPRです。年内はカキの育成不良やお歳暮の繁忙期で、なかなか協議会としての活動ができていないのが現状です。とはいえ、江田島市の若手水産業の協議会の会長を任せていただいているからには、もっと江田島産のカキをはじめ、海産物のPRをしたいと思っています。

今までの活動では、カキを使った料理のレシピ、若手生産者へのインタビューやカキの加工商品の紹介記事を掲載した「バリウマ!! 食べてみんない 江田島産かき」という冊子の発行などしてきましたが、もっとPR する場所があるのではと感じています。われわれが活躍できる場があれば紹介したいです。

直近では、3月のえたじまウォーキングへのカキの提供、5月4日にはマツダスタジアムでカキのバター焼きを販売する予定です。(カープ 対 中日 13:30)

江田島産カキのPR という観点から言うと、島内でカキを販売してもらえる場所が欲しいところです。カキだけでなく他の海産物もそうですが、島の魅力であるにもかかわらず、買える場所が少ないです。私を含め、各生産者は小規模なので、トライしたものの常に販売対応することが厳しいのが現状です。何かしら知恵がありましたら協力いただきたいところですね。

江田島市水産物等販売協議会  
会長 大越 真也



## インタビューを終えて

「江田島の下水処理、緩和できませんかね？」インタビューを始めると会長から最初に出た言葉です。高い下水処理基準は、魚をはじめ、海の生き物が減少している要因ではないかと言われていました。現在、廿日市と呉市広の浄化センターで緩和実験が行われていて、カキの育成に効果が出ている報告もあがっています。その他にも、海ごみ対策やエイなどの有害魚問題など、生産者としての取り組みや課題についてお話することができました。私たちも、今後の行政課題をいただいたインタビューとなりました。



(ゴミの分別をする大越さん)

次回の定例会は  
**6月17日(火) 午前10時開会予定**

※日程は変更となる場合があります。  
詳細は、定例会が開催されるおおよそ1週間前に  
江田島市議会ホームページに掲載します。



議会傍聴メーター

令和7年3月までの累計 ▶▶▶

48

令和7年中に議会・委員会の傍聴に来られた方をカウントします。

議会広報特別委員会

委員長 宮下 成美  
委員 長坂 実子  
委員 美濃 英俊

副委員長 上本 雄一郎  
委員 古居 俊彦  
委員 筧本 語

●発行／江田島市議会 ●編集／議会広報特別委員会 ●問い合わせ／江田島市議会事務局

〒737-2193 広島県江田島市江田島町中央1丁目1番1号 TEL (0823) 42-6310 FAX (0823) 42-6315